

県立流山高等学校

ブルガリア大使館との交流

令和4年10月7日（金）、駐日ブルガリア大使館より特命全権大使 マリエタ・アラバジェヴァさん、文化担当・通訳担当エレナ・クツァロヴァさんをお招きして本校園芸科生徒対象にグローバル教育を行いました。「記念植樹」、「生徒によるバラの研究発表」、「記念講演」、「茶道体験」と短い時間ですが、内容の濃い交流ができました。

流山高等学校では、「異文化理解」「グローバル社会で活躍できる人材の育成」のため、令和2年度よりバラの産地として有名なブルガリア共和国の駐日大使をお招きして、国際交流活動を実施しています。大使による講演やバラの植樹を通じた緑化活動で友好を図っています。今後も共同研究を継続し、ヨーグルトやバラの製品などの6次産業の製品開発も目指します。



バラの植樹を通して緑化活動をして友好を図りました。ブルガリア共和国から AIKO というバラをいただきました。

生徒代表 山田七海さん、三澤信吾校長、ブルガリア大使マリエタ・アラバジェヴァ様、文化担当エレナ・クツァロヴァ様が植樹をしました。



これまでのバラの研究を発表しました。ブルガリアのバラと日本のバラをかけ合わせて、新品種のバラを開発しました。バラの材料など提供していただきバラ共同研究をしています。



茶道部との交流: 茶道体験をして日本文化も伝え、日本の良さを再認識しました。



体育館にて EUに関する講演、ブルガリア共和国に関する講演をしてもらいました。最後に記念撮影をしました。